



# いわき探検記



2023年12月 Vol.2 2  
地域おこし協力隊  
辻村 春香

11月は秋を感じるよりも冬の始まりを感じる日が多かったように思います。月末には寒波も到来。のっけから雪に見舞われた冬になってしまいましたね。その後の12月初旬、寒さの緩みの時に、しっかり冬準備はできたでしょうか？

企画・運営に携わっています！

## 居場所づくり “みんなの居場所ステップ44” 11月11日 「干し柿をつくってみよう！」

- 昨年に引き続き、干し柿づくりを実施しました。
- 岩木地区の方がおふたり、地区外からの参加者がおふたりの4名の参加者でした。
- もうお一方、参加予定でしたが残念ながら参加できませんでした。
- 様子を見にきた町会の方も加わり、私含め6名でおしゃべりしながら時間を過ごしました。



- 今回使用した柿は、昨年からいただいている真土地区にある柿の木からの贈り物。
- 平柿タイプの渋柿ですが、品種まではわかりません。

- 参加者の半分は干し柿づくり経験者。干し方や干している間の手間の掛け方がそれぞれで、失敗談など情報交換しながら過ごしました。柿酢づくりの経験者はいませんでした。「うちの柿で干し柿にするには過ぎてしまった“熟し柿”が出た場合には、柿酢をつくってみようかしら？」とおっしゃる方も。
- 「来年は青柿で柿渋をつくるワークショップもしてくれない？」等のご意見もいただきました。
- にぎやかで楽しい時間を過ごすことができました♪



## 次回予告

1月20日(土) 9:00～ 「獅子舞をおどってみよう」

- 岩木地区の五代獅子舞は、500年続いている地域の伝統芸能です。
- 最近では獅子舞を見る機会が減りましたが、夏祭りや岩木文化祭等でお披露目しているのをご覧になった方も多いかと。
- 今回は「本格的に獅子舞を」というよりかは、みなさんに獅子舞を知っていただきたいということで、獅子舞の踊りの一部をみんなで踊ってみたいと思います。
- これまで見るの専門だった方も、ほんのちょっとだけ興味がある方も、いろんな方に来ていただけたら嬉しいです♪

- 場所： 五代多目的集会所（弘前市五代字沼田137）
- 参加費： 無料
- 対象者： 獅子舞に興味のある方ならどなたでも。  
（小学生以下の場合には保護者同伴にて）
- 人数： 20名程度
- 服装： 体を動かせる服装で。
- 申込み： QRコードからお申込みいただくか、お電話で。  
（事務局：辻村 090-7790-9925、平日 9～16時）



前回のようす。今年の1月に実施し、新聞にも取り上げていただきました。

## 秋の“からむし” 繊維取り実験

こぎん刺しの布素材であり、世界的にも繊維を採る植物として名高い“からむし”。

状態が良ければ年2回の刈取りが可能とモノの本に書いてあったので、7月末の刈取り・繊維取り実験のあと、葛原地区のからむし自生地を折々立ち寄っては、成長度合いを確認しておりました。

秋の繊維取り実験をするか、しばらく悩んでいたのですが、知人のSNSで繊維取りをしたと発信していたこと、別の知人からカラムシの繊維が欲しいと言われていたことから、重い腰を持ちあげての刈取り・繊維取り実験となりました。



草丈 130cm 位になった 11月のからむし

7月には草丈180cm前後、茎の直径1.5～2.5cmくらいの太さがありましたが、11月10日ころは、草丈130cm前後、茎の直径は0.8～1cmくらいの成長でした。

茎の外皮から繊維を取り出すので、茎が細いと幅も出ず、また茎の長さも短いため量が少なかったです。



外皮を  
水に晒す



夏  
今回  
汚れ・かすを  
削ぎ落した状態。



夏  
今回

文献に、「前日に刈取りして一晩晒す」(上)夏・(下)今回收穫。夏のものはの記述があったので、今回は一晩晒した。丸めて保管。並べてみると夏のは長い。

(上)夏・(下)今回收穫。夏のほうが幅広な繊維束となっている。

## 岩木文化祭 ～準備だけ参加しました～

文化祭当日は参加できない…ということで、準備に参加させていただきました。

昨年と同様、岩木山商工会青年部の中央公民館岩木館のミニ四駆会場。

手始めに車からの荷下ろし。「こんなにたくさんあった？」というくらい、たくさんのコースセットを車から下ろし、中央公民館岩木館に運び入れました。あとから聞いたら、昨年から数セット、基本のコースセットとオプションセットが増えていたそうで…。どうりで多いはず。

会場の大研修室に運び入れ、青年部メンバーのコースづくり指揮官Yさんの指示のもと、準備に参加できた4～5人で箱から出して、順々に組み立て。ひととおり組んだところで、「1段・2段の足場が足りない！」と騒ぎになりかけましたが、みんなで記憶を総動員し、保管場所を思い出して、後から手伝いに加わったメンバーに持ってきてもらい、解決。初日で大体のイメージがつかめるくらいに組みあがりました。

2日目は青年部・大工メンバーのヘルプが入り、難所コースの土台を木で組んでもらい、その間にコースを養生テープで補強しながらコースを組み上げました。青年部メンバーのマシンでテスト走行し、クッションが必要なポイントを確認し、2日目終了。

昨年のコースにも驚きましたが、今年のコースもものすごいものができました！なんと、全長94m超！！

準備3日目～当日は参加できませんでした。あとから人づてに、文化祭初日は悪天候で人足がまばらだった半面、2日目は大盛況だったと聞きました。

商工会青年部の活動では、経営者の方々だけあって、みなさん判断と行動が早く、「あれよ、あれよ」という間にコース等が組みあがり、手際よさに舌を巻くばかり。すごい！



準備2日目。コースがほぼ出来上がり、これからテスト走行しようという段階。

## おそろべし、回転式脱穀機!! ~たいへんお役立ち~

10月に岩木地区の方から譲っていただいた足踏み式回転脱穀機。10月末までに泥落としや油さし等お手入れをしたので、あとは使うのみ。

これまでの人生の中で触れる機会のないものでした。(博物館等で展示しているのを見たことがある程度…)

ねじが1個動かず、ペダルがうまく動きませんでした。ロープで応急処置ができました。動きは快調。

しかし、ペダルを踏むと逆回転!? どうやったら思う方向に回転するのかわからず、回転を止めてはペダルの動きを確認し、思うように動かすコツを30分ほどで、なんとか習得。

収穫→乾燥させたダイズ、ハトムギ、ホウキモロコシを脱穀しました。

昨年、11~2月までかかっていたダイズ・ハトムギの脱穀が1日とかからず終わり、そのスピードに感激。葉や茎、ホコリと分けるのに時間がかかりましたが、それでも速い!

ダイズの豆と殻との分けには、100均で購入した焼き網が大活躍。(殻は上に残り、豆は下に落ちるので)

シンプルな構造でありながら、作業の効率化ができる民具、昔の人の工夫・技術の凄さに感激しました。

今の世の中、簡単に物を捨ててしまう人も多いですが、知恵の詰まった道具を譲っていただき、使う機会が得られたのは本当にありがたいことです。これからも直しながら大事に使っていきたいと思います。



ダイズの脱穀。

しっかり実の入ったものは、脱穀機に架けるとはじけて豆が飛び出しました。

あとで豆殻を掃除していたら、実の入っていないものやまだ湿気があるサヤは、閉じたままの状態で転がってました。

## 実験栽培している藍の採種

今年は藍の栽培がうまくいきませんでした。

育苗はなんとかできたのですが、定植時期が早かったのと水管理がまずかったのか、藍が成長できませんでした。7月まで生き延びた株がほんの数株。

昨年と同様に生葉染めのワークショップをしたかったのですが、少ない株数では実施できず。また、種の寿命も短いために、毎年確実に種を採るためには、生き残っている株を確実に種取りまで延命させるために、葉を採取することがはばかられ…。(藍の染料=藍の葉の部分に含まれている。)

結果、今年は種取りに専念しよう、という決意をしました。しかしながら、今年は夏が長く秋が短かったせいか、赤い花がついてもなかなか茶色く枯れず、茶色く枯れないと種も入らないことから、しばらく畑にて放置。

11月後半に遠出の予定があり、雪予報も出ていたことから、出発直前で株ごと刈取り。自宅で乾燥させて12月中に、種を採り分けようと思います。



ねじ花に似た濃いピンク色の花が咲きますが、茶色く枯れるころに黒いタネができます。



花と同じくらいのサイズの種が付きます。

ここまで茶色くなれば、しっかり種が入っています。

枯れた花びらの中に1粒ずつ、黒い種が入っています。

# 畑じまい

毎年のことながら、畑じまいにはバタバタします。

作物の状態と天候に左右されるほか、収穫物の後処理で時間が取られ…。畑以外にもあれやこれやっていて、忙しい時期というのは何かと重なり、スケジュールがめっちゃめちゃに。

一町田の畑はダイズ・ハトムギ・ホウキモロコシ・ヤブツルアズキの4品目5品種なので、順調に片付けできました。

高屋の畑は、アズキ（浪岡在来種）の乾燥待ちとタカノツメの赤化待ち、藍と棉の状態もにらめっこ状態で、どこであきらめるか決心つかず。一部、11月末の降雪の中で撤去しました。

葛原の畑は、ダイコンの種取り区画への植替えができないまま、積雪。12月初旬の寒の緩みに、何とか移植完了したいところですが、どうなることやら…。



実験栽培 2 回目の和棉。こちらも今年は面倒が見きれずに失敗。背も伸びず、花もほとんどつかず、結果、綿花もほぼ収穫できませんでした。

サツマイモ・菊芋・ヤーコンは順当な時期に掘り上げられました！

## ◆◇ 編集後記 ◇◇

気が付いたらもう師走。私たちの任期もあと3ヶ月ちょっと。4月からの生活をどうしようかといういろいろ悩みながらも、拠点を置く宮地の家の整備をしっかりとっていききたいな、と思いながら年の瀬を迎える私でした。

本年のご愛読ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。よいお年を～!!

# WANTED

## 衣生活に関わる民具を探しています。

衣生活に関わる民具を探しています。現在、糸績みの講座を外部講師をお招きして開催しています。

そこで「地元の衣服に関する民具」がなくなりつつあることがわかりました。

カラムシや麻の繊維をとるのに使った道具や、糸車、紡錘車など、衣服に関する民具を探しています。

ぼうすいしや

いずれも、情報いただけましたら、状態の確認に伺わせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



連絡先  
岩木総合支所 総務課

もろもろ情報  
お待ちしております！

地域おこし協力隊 辻村まで

Tel: 0172-82-1621  
Mail: har-tsumimura@city.hirosaki.lg.jp



「いわき探検記」の直近のバックナンバーは、市のホームページからご覧になれます。古いものは、岩木庁舎でファイルしております。ご覧になりたい方は、岩木庁舎まで。